

食材のお届けだけじゃない!
パルシステム東京の
社会活動をご紹介します。



クイズから
ひもとく



沖縄から平和を考えるとみより

沖縄と聞くと、美しい海と青い空というイメージが強いのではないのでしょうか。

しかし、第二次世界大戦末期の1945年4月に米軍(アメリカ軍)が沖縄に上陸した沖縄戦では多くの住民を巻き込み、20万人以上の犠牲者が出ました。敗戦後、沖縄は1945年から1972年まで米国の統治下に置かれました。日本国憲法が適用されず、立法・行政・司法といった施政権は米国が握っていました。日本に返還されたのは52年前のこと。今もなお、沖縄の日常のそばにたくさんのアメリカの軍事施設があります。沖縄の抱える課題について、クイズからひもといてみましょう。

Q1 沖縄県民にとって、とてまなじみ深い休日がありますが、それはいつでしょうか？

- ①6月22日 ②6月23日 ③8月15日

こたえ ②6月23日

沖縄県が条例で定めた休日で、沖縄戦犠牲者の霊を慰め世界の恒久平和を願う日です。1945年6月23日に、沖縄現地に配備された日本軍の牛島満司令官と長勇参謀長が自決し、組織的な戦闘が終結したことから、この日が「慰霊の日」に定められました。



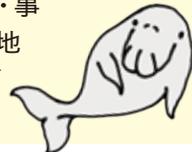
【住宅地にある
ふてんまきち
普天間基地】

Q2 沖縄本島や島々に米軍の施設はいくつあるでしょうか？

- ①12 ②24 ③36

こたえ ③36

日本国内には130か所の米軍基地があり、そのうち米軍専用基地は81か所。沖縄には31か所も集中しています。また、沖縄には普天間飛行場という米軍の大きな基地が住宅街にあり、危険なので、辺野古の海を埋め立て新しい基地を作ろうとしています。辺野古大浦湾には天然記念物のジュゴンやサンゴが生息していましたが、基地移転工事の犠牲になっています。飛行場のほかにも射撃訓練場、弾薬庫、通信施設などが36に及び、騒音や事故・事件など危険に晒されています。米軍の基地だけでなく、自衛隊の駐留施設やミサイルなども次々に配備されています。



「日米地位協定」正式名称は、「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」といいますが、知っていますか？

Q3 日米地位協定はいつ作られたのでしょうか？

- ①1960年 ②1972年 ③2001年

こたえ ①1960年

日米地位協定は、1960年(昭和35年)、締結された日米安全保障条約(新安保条約)で日本への駐留が認められた米軍について、細かい取り決めをしたものです。

日米地位協定はアメリカにとって有利な協定であり、米軍が事故や事件を起こしても国内法が適用されないので捜査ができません。米軍ヘリコプターの落下事故直後は現場封鎖され、関係者が入ることすら出来ませんでした。

航空機騒音、米兵の犯罪、PFAS汚染なども沖縄では問題となっています。

参考文献:『まんがでわかる日米地位協定』(小学館出版)
高校生が日米地位協定を調べてみた!
著者/平良隆久 作画/藤澤勇希 監修/前泊博盛



自衛隊そして基地から考える平和

沖縄本土の米軍基地の集中に加えて、島々に自衛隊駐屯地が増え、住民の方々が事故や戦争に巻き込まれてしまう危険があるのではないかと心配の声があがっています。



パルシステム東京では、8月にはヒロシマ・ナガサキ、3月にはオキナワ平和スタディーツアーを企画・開催しています。これまでの開催報告もパルシステム東京ホームページ上に掲載されています。

2025年3月26日～28日にオキナワ平和スタディーツアーを開催予定です。一緒に、沖縄から平和のことを考えてみましょう！

3月のオキナワ平和スタディーツアー報告



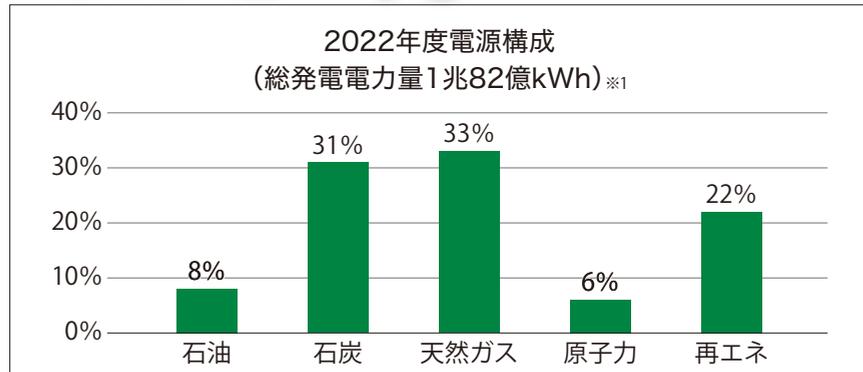


気象庁によると、今年の夏の平均気温は1898年の統計開始以降で去年と並び最も高くなりました。

このような暑さ、そしてこれから来る冬の寒さ対策にも電化製品を使用します。冷蔵庫や洗濯機、電子レンジ、テレビなど私たちの快適な生活を支えている電気について改めて考えてみましょう。

暮らしに欠かせない

でんきは何からつくられ、どこからくるのでしょうか？



原子力発電

原子力の電源構成比率は6%ですが、政府は稼働していない古い原発の再稼働や新設などで、原子力発電の構成比率を2030年に20~22%まで増やそうと計画しています。^{※3}



日本は地震大国です。2011年の福島原発事故のような大災害が再び起きる危険性があります。稼働してなくても維持費などにお金もかかります。原子力発電で使用済みの核燃料は危険な放射線を放出しますが、最終処分場などの決定を先送りしたまま、計画をすすめています。

火力発電

石油・石炭・天然ガスといった化石燃料などを燃やして発電する方法を「火力発電」と言います。

2022年度の電源構成の左表を見ると化石燃料は電力の70%以上をまかなっていることがわかりますが、これには課題があります。

化石燃料はいずれ枯渇する限りある資源であり、原油 99.7%、石炭 99.7%、天然ガス 97.8%は海外からの輸入に頼っています。^{※2}



近年ではコロナ禍からの経済回復や国際情勢の悪化などの影響で輸入価格が高くなっています。さらに燃料を燃やす時に大量の二酸化炭素(CO₂)が排出され、地球温暖化の主要因のひとつになっています。

東京で使う電気(火力、原子力)が作られている場所

下の図は東京近県の火力発電所と原子力発電所の場所を示しています。東京で使う電気は千葉県、神奈川県など東京以外の県にある火力発電所から送られてきます。^{※4}

東京にもひとつだけ品川火力発電所がありますが、ほとんど他県から供給されているのが分かります。



再生可能エネルギー



風力発電



小水力発電



太陽光発電(ソーラーシェアリング)

太陽光発電、風力発電、微生物による発酵で発生したメタンガスなどを利用するバイオマス発電、地中から取り出した蒸気を利用する地熱発電、農業用水路を利用する小水力発電などの再生可能エネルギーは、環境や地元で配慮しながらの開発が不可欠ですがクリーンな発電方法です。化石燃料はいつか枯渇しますが、再生可能エネルギーは枯渇することがありません。そしてこのエネルギーは国産なのです。

火力発電はCO₂を出す、原子力発電は問題が多いと考えると、安全で温暖化を止めるのは再生可能エネルギーがカギになりますね。

私たちの未来のための
エネルギー資源を
考えてみましょう。



ドイツやアイスランドなど他の国の電力はどうなっているのか、温暖化を止めるため、どういう行動をとればいいのか考えていきたいですね。

パルシステムでんき

パルシステムでんきは原子力や化石燃料に頼らない風力、太陽光、地熱、小水力、バイオマスといった「電気の生産者の顔が見える再生可能エネルギー」を中心とした電気を組合員に届けています。



パルシステムでんきHP



<https://www.palsystem-tokyo.coop/activity/denki/>

出典: ※1~3 経済産業省資源エネルギー庁「日本のエネルギー2023年度版」「日本のエネルギー エネルギーの今を知る10の質問」

※4 株式会社 JERA「会社案内2024 P36 国内火力発電所2023年6月30日時点」 東京電力ホールディングス株式会社HP 発電所情報 https://www.tepco.co.jp/about/power_station/ 日本原子力発電株式会社HP 発電所情報 <https://www.japc.co.jp/plant/index.html>